

2017年3月期 第2四半期 決算説明会



サンケン電気株式会社

2016年11月7日

2016年度 第2四半期 連結業績

(億円)

	15年度	16年度			前年 同期比 (%)	16年5月 公表値	増減率 (%)
	上期	1Q	2Q	上期			
売上高	773	369	392	761	98.4	740	102.8
デバイス	629	309	318	627	99.7	604	103.8
PM	83	40	42	82	98.8	70	117.1
PS	61	20	32	52	85.2	66	78.8
営業利益	29	3	19	22	75.9	18	122.2
経常利益	15	-6	20	14	93.3	10	140.0
当期純利益	1	-12	11	-1	—	-4	—

※ 前年同期比は本表に示した億円単位の数値から算出



2016年度 通期業績 予想

(億円)

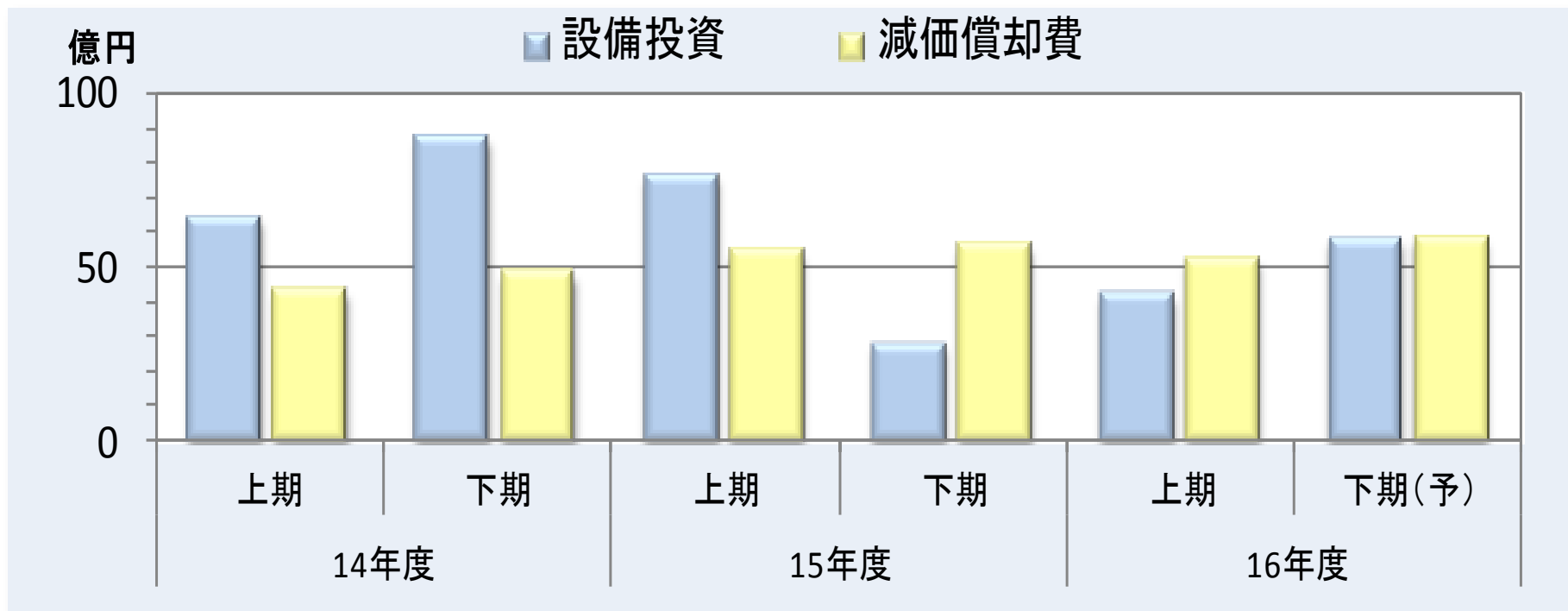
	15年度 実績			16年度 予想			前期比			
	上期	下期	通期	上期 (実)	下期 (予)	通期 (予)	上期	下期	通期	率 (%)
売上高	773	786	1,559	761	799	1,560	-12	+13	+1	±0
デバイス	629	622	1,251	627	644	1,271	-2	+22	+20	+1.6
PM	83	76	159	82	75	157	-1	-1	-2	-1.3
PS	61	88	149	52	80	132	-9	-8	-17	-11.4
営業利益	29	39	68	22	48	70	-7	+9	+2	+2.9
経常利益	15	23	38	14	41	55	-1	+18	+17	+44.7
当期純利益	1	1	2	-1	26	25	-2	+25	+23	-

・ 為替レート: 105円/US\$

※ 前期比率は本表に示した億円単位の数値から算出



設備投資・減価償却費



16年度 設備投資 100億円 (国内40)、減価償却費 110億円 (国内40)

16年度下期	
国内	海外
石川 : 車載・白物ライン増強、合理化投資	AML : フィリピン工場増産
福島 : メジャー装置増強	SKI : 車載ライン増強
山形 : 安定生産のための必要最低限投資	PSL : 8インチの能力増強再開

将来に関する記述についての注意事項

この資料に記載されている当社及び当社グループに関する業績見通し、計画、方針、戦略、目標、予定、判断、認識などのうち既に確定した事実でない記述は、将来に関する記述です。これら将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する前提を基礎として作成したものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいます。従って、実際の業績は、これらのリスク、不確実性、その他の要因により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。また、当社は、適用法令の要件に服する場合を除き、業績見通しの見直しを含め、将来に関する記述を更新あるいは修正して公表する義務を負うものではありません。

当社が属するエレクトロニクス業界は、常に急激な変化に晒されていますが、当社の業績や財産に重大な影響を与えるリスク、不確実性、その他の要因には、(1) 経済環境、市場・需給動向、競争状態、(2) 為替レートの変動、(3) 技術進化への追従の成否、(4) 原材料の高騰あるいは調達難、(5) 各国・地域における法制度の変更あるいは社会情勢の急変、(6) 偶発事象の発生などがありますが、これらに限定されるものではありません。